あす學徒晴れの檢査

門、同十時廿分同夜に演仰、校

長牧野四郎中将の御先線にて一

認識にて午前九時代分官原御出 **附乘、松平宫相、木户内府、**

故山本元郎が故南郷少佐の藍領と属突した監察引がし講義され

開校式に働り「長ノ薩腸ハ土官ノ概否ニ由ル」との優勝なる時

十一、十二日全國北省十三、十四日全國附近十三、十四日全國開發十五日四周開發 釜山檢查場

性質以下供容の略式自動車

耐愛を御佩用、運泊特従政官長

この日曜下には國軍領軍数

時下内外の御政務館めて御多場の折続、今回特に陸軍

楽器公殿下に御鎧面、つまいて

出色影響是、牧野校長以下會

し、関れの志願をして整國日 して、原理への志願を完了した 樹帯館の際計設三十七百名に 月廿日であつた。殿内

悪娃としては、光風器月の心臓

とである。なって志願をしたか

後の最衝を受けることによう一 するにその手機さであつて、

ないに一島一家を超越せる風間 もあつたと思ばれるが、然もよ

及び父兄の意心等を十分に

く的を以て高額に帰じ

る際脳ある上級将校をこれにあ

盟軍省令な公布され、幸福 液臓器症の 観査を待つ ばから られ、今や真全の機能を整へて、

國軍勢阻志加吳臨軍及用乃國

がら十日間、京城第一、同第二、 の大がの十日間、京城第一、同第二、 ラ ち、 金銭数を負長として井原 一 に扱いて 石はれることにな **於此、國際資訊以中井少族、委**

> いればならぬことは、心臓は変 ■軍の一員たるの祭祭を始ふべ

學徒志願兵と銓衡檢查 を扱いて、松连場に輸せ曲ずる

の知言成果となって現れたので

あることは哲を挟たね。

茂陽島佐の中には、**個**々なる

郷その銓衡版売は十二月十一 を持つばかりである。 せるによって、最後の禁忌を励 いふまでもなく今次学問人器

側反志順によって十一日から廿日に宜って関れの絵脈や暗椒査受椒の日を待ち

相兵への道に全端を傾け、火花教る副説出動の日を観見待ち化びてゐるのである 客じを法定取得兵は改安は動類を築って重烈の戦気にもめげず、いま孜々と興政、状態が終めるうなに続入したこの致、既にベンを折り員を閉むて原烈から賦別へ間をしない。 10内地人島友に置いて優たる傑光を撮び法文派中断人島荘もまたさきに臨時特

全鮮六が
一齊に開始 の心治となり、一般関は鎮液の如く押し寄せ深然として異民の本質整理によって選し の期待を寄せられてゐたのであつたが、見事取實を思し本分を翳して一意歌列参加 また星頭二十五百萬年的民衆の明日の指附と運命を懸けてをり、志願の成果に多大 への大道に驀進したのである。このとき志順の歴生に寄せられた中島の威胁は愛國 くもゝ暖むてし止まむくの鼠窩を飾り立たせた、この半島の脚き立つ歌風のうちに

る盛徒の厳じて容置せざる所で いて一瞬に開始されるが日割と観 套日間と出頭心得は趣報され、 金町板在については既に朝鮮軍に

京城長谷川町和工會職所企業総下の八海十八日 東大門、東北川東 東西・十一日 東大門・安城十二日 頻路・関東、西大門・七日 頻路・関東、西大門・七川、水原

十一、十二、十三日 年前八時二十分出頭 東城龍山陸軍修行社

既隆新

十八日--十五日 平安北道十八日--十七日 黄海道

れた戦災を認め、本名アジャナ版の「羅問威略」大東心宣宮に明示さ

本語思、於對與田屬本語事務語是

運興動亞

を図る日瀬路三國興語運動王脇君

間に各國際國際甘暖名がそれと

の強い興能運動監路具態策の確立一団國新民政権副會長着院、その後

京城第二檢查場

平壤檢查場

つて、器校数練服務等に概算な る検査の行はれることは国然で 常概なる法述であるよのがく歌る。それにしても、整衝観査を 見することは問題つてゐる。も あるが、特に口気試関に心を配 より身體その他に数て威格な 外,利山、鹽州、加平、楊平、 十四日 龍山、廣州、開城、楊 る心安さを先づ概念なければな するところなく、 数章に関じ得のであるから、その脳何等心配

とも、一つの心臓へとして順も 戦の第十分数量へ関からと 質悟に至つては、そよに一々薬 ら、これを吸心より美観を以て しとが大切である。斯る光楽の ベスたる信念と氣臓に徹すべき 重であるから、一条一門の書 皇原の一貫に加はらんとする

日、南代東市海洋路路の大長を中心 かくて午前十一時候事役の謝州代

人東亞天岡監督を具備化

夢めることなど、板査場に臨む 赤に板査時間に選れないやうに 家顧助員法を證動して、刑制のつてゐる。これを担む時には國 に関しても同様の騒気が散せら ことが弱へられてゐるが、思明して明経された れることを強へる時、晴れて志 しつくも検査を受けなかつた者 動職被査場へ・音人が強く説

原態が部長立つて實證開催の

可會看 游光网络和窗 中央本部等

四にその目的を述べ、松井副査

細なる最低があつて風骸に入り

征かうノ榮光の庭の

こゝに腐骸の戀歸なつを隠れの執策初日十一日を迎へることなったのである 心は敗めてこ人に鋭くの更はないが、なほ学島二平五百萬が忌願風生にかける期待 。原理版正にして営みと破査場に出頭受験して遺憾なく活動した實を果するとであ 台を押し、前しく家庭、環境等の質賞を聞くととらに、

朝龍川の陸重豫将士官慰彼に行李、親しく麓の屬麓の高線を書場京都を登出し思くら、大元帥陛下におかせられては九日埼玉縣 神能所に東係飛掘陸軍大臣並に山田敷育機監を召させられ、 被所在地一部に親レく『振武器』と名称を職る話の曼を御みか はせられ個威一入衆く無されたと思るが、その個剛、胸棲内の 振武臺」と御命名

し難る壁の陽難の感激これに過ぎたるも

さがにても単弦未練なる振舞あるときは今日空で楽し深り、腹び死つた難く祭光も そして限りなき歌響をもつて島軍の一属たる書朴の築光を取り得て歓呼に白及 に九仞の功を一裏に働くもので悔ひを予職に胎し汚名は一個人に上来らぬ結果 整國の熱情燃え合かる牛鼠人志限學徒贈君、堂々と祈

咸興檢查場

「リスポン八日同盟」REG放送 によれば際介石は過酸カイロ宮飲 から国際に顕璧の後、印度に於て

限定出版

幡舶史縣

四郎

著 壽岳文章妄慎

反隔軸泉南アジャ東司令国マウン

トパッテンと協議したといはれる

学前八時半

全鮮銓衡檢查日程

獨仁、金譜、江蜡、菱屬、張川 李齊 十五日 江東巡、思北鄉(鐵瓜 第川、韓恩、天川)

在場は大陸次の通りである

京城第一檢查場

毎日の男の子の関れの一生を決定する概在日に、そして概念場に翻むに、いさ

岸級器個附近地路における総合蔵 【南太平年〇〇基地八日同盟】 去 | 果は次の卯し ニユーギニヤ歌喜

主腦者會議開く

第一日

北部側印に來聞、ハノイ西北世キ年後七甲世分より一時間にわたり 九日同盟」在支米空軍六機は九日 ペノイで銃撃 スノイ

戦を攻に帰避してこれを緊緊し空、戦烈、音ケ所、大小の戦争のに帰避してこれを緊緊し空、戦烈、音ケ所、大小の戦争のには、市場が知り、

一年の戰果

三▲わが方の過害職死一四

佛印侵入米機擊退

四百九十一機を屠る

出語を守備する重慶里に攻略を

機器な白圧地が展開されてある

及機構で日本両導値実験の間に、過去一週間アラカン地域では

加へ、その陣地線を脳化した

と競歩してあるといはれる

皮閣戦軍司令船は八日の公報では

リー來電によれば東南アジャ

ビルマ國第での日本軍はラド公路 を附属する重盟軍に重盟を加へ職 をのでりを誇る国のである。ニュ

と無然な空中観が縁返され、北部

職 等 た 大 う

河瑠璃史研究 **端**遠 雷 **瞬**界中忙談 古 伊瑠璃の研究で 三三四個大川石小都京東 番五九〇九六一京東裕振

シントン衆電=國軍省航空來官ノフェノスアイレス八日間閉口ワ

【東京電話】異くる・大光神壁下には時局窓々東大なるのが、

日の光条に沿し、今こそ一死もつて暴烈の高分の一に親い避り

練武の上に寄せさせ給ふ大御心のほどに恐衛所被申上げてゐる

教育總監謹話

きは、紀成、南陽、會聚、領域 **建**源、紀成、南陽、會聚、領域

城津、羅津、總基、明本、豊居、開南

翻化、 6日本軍は積極的な観戒活動を展響・安 既は全くない。他方地上において

アラカン地區においては日本 際と反隔軸軍との国に日毎

も明瞭に見られるやうに歌すべき 航空部隊のカルカツタ附近議職に 動物にピルマの歌略爆撃を狙つて 野んに呼吸、在印空軍を動員して トパツテン軍のビルマ医攻作職を はカイロ会談を実徴としてマウン 【イスタンプール八日同盟】英國

中三日 卷山、北藤山。 古琴、南海、山海、大邱 中四日 六邱、檀山、永 中四日 六邱、檀山、永

あるが、さる五日致行された日本

全州檢查場

大東征職心跡もつて聖禮を安んじ場る機管と決震を含らに幾個

しむ陽離の教育状況を残しく個

オードが首相代理として意味を主

【リスポン八日同盟】アンカラ來

に開選、直ちに人民共和党

の開

No.

日軍重壓加ふ

パツテン自自

要紙當の脳水栗治数最がそれら、進んで御下間に整否 引息的公立天散統のされ、久いで大概並内別率の作詞島天置の後衛が生徒の明晰な管解と相談づて實施されたが、関下には終 関しく同一形甘分同稜鏡側、三肢小分宮城に概率あらせられた。かくて御少藤の側のち閣園寮追復に天機券のほか側 別制に次いで飢憊種及び倒種の混合による紅白試合、最後に などを創災質、校長配に國際文學協会の権田職の教授、物理 でられ次いで個用管理を天気の領のも同一時九分便優に入ら 下には词午餐の側のち午後一段五分再び大器堂に田御、御 の信念を超ひ來つたのであります。この傳統精神は含含 て市ケ谷台上六十餘年の傳統を結成し至版

育教の

習され午前十段五十分風景 著に無線を駆けり、ついで

御窓翼は大元帥陛下御関兵

5本年十二月八日までの | ケ甲

明白後

た自概未開売して記念いる。 ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の大郎機を含んである。こ ・大徳の本郎機を含んである。こ ・大徳の本郎機を含んである。こ ・大徳の本い機能を

ロのインに割し硫酸を加へたが眺

日側の被害は軽微、日本側には数

害はなかつた

蔣、パツテン會見

・題つて突入する火を助く民職場に出て化け、われ等は敵呼の扇と風密の拍手でも

大日 惠代縣門、城大大田 惠代縣門、城大田 惠代縣門

十二日 成興、國南
七二日 文川、洪原、北青

ケ月間におけるニューギニャ廟マ る十月廿日から十一月廿日まで一 ダン南方粉六十五キロ、ラム河左 敵失一千以上

はるものへ 一般と興々 一日以上本國 の竹内へ勝氏(開海網算務)十一 個 1、 国 日 小城の像定 関三千▲ 今岩瀬米線氏(同境郷交店交長)

小泉 ※ 三巻 恵士勤王詩歌評釋 でごべる 像軍 営業額 継新勤王詩歌評釋 でごべつ

は ・ 次長)八日夜三郎(京城新灰郡路) ・ 新派供出資園のため九日和川、 ・ 新派供出資園のため九日和川、

根督大阪九〇七二八番草

房

にて左記宛御申込乞も)

は咳嗽無線の原因を ・喘息・肺結裂を手にす。 ・心喘息・肺結裂を手にす。 ・活動を発性により。 ・活動を発性により。 ・活動を発性により。 ・1004年459 ・2004年8.53

社會式條準整理田泉東町木東京

數 数配・物理教官との座談會との座談會

振習東京三六六二〇

考へ方研究社

、万」の新幾足 錬 成

李今職 下 賽十 李今職 下 野二 林野縣 前 五月 鄉飲泉 湖 二號 郡為夫 人民機

らば、護泥の差があることが分るのであります。大東即南部の成功は

より明確なる如く整敵の緊破をる風磁は明らかに天下に表明せら

のだっと政府に取ってかくったり、天海外派遣の米國宗は悉く派

鞭する所に依れば、米國内に於ては今夏ノ我々は何のために戰・

をデーて一

既と事業の進捗を見つくあり

や一大國民運動として空鮮的に度

定である

肥料の需給調整

敵は太平洋作戦に重點

に確ることを整慮してあると報告して敗和の非を鳴らした随意

と行はれたる大県政権破解に進々たる大東西軍国に比較致しますな 種の財験用にも感しき概後の問題などを採り上げてお茶を楽してゐ

るといふやうな現状であります、これを先級東京に於て大成功の独

戦意の昻揚と増産 これ最後の勝利の鍵 上の からの上半郎は縁起郷へ乗り立うのとき、松高朝縁取司令都は九日午後七郎のからの上半郎は縁起郷へ乗り立うのとき、松高朝縁取司令都は九日午後七郎のからの上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の

がたなるものがあります。 本日茲に大東亞殿事二周年を追り、第三年を抑るるに罹り殿殿取

終する。覚はざるものがあります。暫く肉外の、情勢を漁獵して資米 **反応を顧出的に耐納する日も強くないことを思い、加強と高いるのでありますが、私は耐々これから脳の顧決観に入り扱い** 既の職団政なるものを検討し心に對する必勝不敢の信念を述べてみ するのでありますが、私は遅々これから隣の脳決闘に入り彼らの超り腕の年であるといふさとは限に空間最の部分機略してある所と信 VBO、加術き物間るた かれると否則に放送した、放送要話左の通り「得政=放送中の板垣軍司会官」 度して戦闘の大概と頑張な敵米英の孤尺攻も必濟不成のわれ等の初には著に推 時廿分から国際において、マイクを通じ。大規語記憶第三年の領尾に置りてくと 継近に於ては確めに辦女子を簡単し、親り顕微工場のみならず可敬 当したからであります。人門強敵に載ては各國共に比の他司を訴へ 、野国として放くべからでる勢力となることを利れて居るのでありま で其の駅位に選し其後前速なる増加を諸宮れないと云ることも何力 す、間又被罪の潜摘する即将品の大議生産も本年本力至明年学を以 なる理由の一であります。脳ち人的意識も物的意識も各々最大限に

戦の者は敗戦による大道談を知るべくもないのですが、著し押った 態がせてゐるのであります ら大能なことになるといった裸な膜々の事情も文米國として決戦を 展ストライギが超るとが指数を極めて小田に發表してあるため、 凡ゆる手段で對日反攻

般會計豫算概算

ふの閣議に上程

城く本月中に帰田線域局景以下脚ので之が状況耐寒客働のため次の

學(企此)辨地學及(唐南) 學為科學及(全語)辨地學及技師(本) 學為科學及(全語)辨地學及 學為科學及(全語)辨地學及 學為科學及(古語) 學

より潜々強利の成果を収めてある一

とも容易に一致し触さどれた一の立動がありまして、間はは一致ら しば重ねてをりますが、作米和豆の間にもまた英米野ソビエート

反禍順國側の諮詢箔は場所を使へ人を代へ大がかりの面談をしば

要すならば、日本は空歌層中で、最も人的意識と絵絵ある圏である

機、職水融を以て交通級を蒸棚し、成は累地を破壊し、進んで日本本期せらる」でありませら、又此の間太平祥上又は支刑方面より飛行 る、森に日本は開戦以來多嫩の船舶を要失して匿るから、形大なる 或は日郷の韓間を策し或は東亞共祭園の勝地域の日本に對する婦反 りませう、又印度方面よりピルマの韓回を企画する路めの反攻。 版となって居る西南太平洋館に中部太平洋方面よりする飛行生 線に離れないのでありまして、彼等の勝利する難の優勝を得み、 反政するものは、如何なる英領に出るものであるかと言ふことは指 型の問題機像に依り、喧らに日本本土の心臓部を聞くことも可能で 片領地とは亜鉛を測額し、致命的打撃を興へることが出來る、交飛 かであります。信此の外線略版、思想版、宮藤等凡のる手殿を職じて せん、最近のブーゲンビル前にギルバート階級方面に於ける熱物な 土の心蔵を耐かんとするの作戦に出づるとを豫刑せなければなりで ありませう、原にアリコーシャン方面より日本本土を観みこと 観行して、日本本土に對する則隘層の腰楠を聞ることにも力めるで 万国より大規模の機動戦を制拗に頭行するのでありませつ、現在焦 りを聴記し些観に失する嫌心があります。右により近く将來収等の 又彼等の日本に對する照顧としては今の内ならば充分の自信が 計上され資金、資材の二配より 原項をる軍務生産の増配職保に開 程砂定を見るととなった。右一 足する方針の下に第て大阪省でそ 會計象質概算を十日の閣議にて決一就後增米根國の熟意を反映して今 西常議会に 塩田する 法律案的 するれなど十件の強調化を中心と たが、九日中に一切の折倒 質計像質版館は十一月廿六日の の職成につき各省と折断中であつ一関してあるが、近く結氷別を控へ 政府は十二月卅日の開題で 【異異範疇】咳がは十九年度一般 | 主概とする小規模土地改良事態は んとしてきり、職員家、法律家

況を見るに、國国記書運動の

の増加を見るに至ったことは

五個、六億、九個と逐年增加 あった、耐役目標順は三郎 に於ては、その目標願! 政施心られたる昭和十三年成

> 鮮經洲力が終増して取力増展 三倍を示せるに比し如何に朝何期間内地における増加額が

り、その間劉承金附定期預金

帝國の計力増展の上に原大な

確立に軍大なる密則をなし得

に於ける恩里の烈々たる歌歌

と個大なる世界上に血滅くを

大東亞戰と朝鮮 金融界 (下)

協力し、企鵬機関を結束融合

回して、原則生職動として 解は事態、小点学配態が影響

新いそ類様に記する

脚界は更に減断を大にし横動であるのであるから、朝鮮を

に立った無常の威闘を想起せ

しめる。近くはグブーゲンピ

て以来、問題は政府の施策に

日は乾國の別時に親つて獨雄一國を目標として歐洲第一主義を採る 水めんとするのには確に管胃し得べき頭虫があるのであります。

るみ具合で米関たるもの大いにあわてさるを得ないのでありま

とは米國の樂館が宿さないのであります。一方勝渡は今中歐洲

大学などの一般の対人作職に出て巧に内職作歌の妙味を破壊して

ア敵側の人的。物的資源の消耗を踊りつく、

一階るのであります。ソ歌の生暖に概従して第二歌談を結成すると

何は自ら明かでありますが、残が國の長原将兵の鄭殿撰職に吹り同一増米自然石を目指す小衙池設置を とにも努力するとが彼等の常在手段であります。之に動する製製如 物しつ人かる 土改事業視察

た朝鮮の貯蓄目標額が本年度

而して右の如く昭和十三年

度はこれを十二層画に引上げ

について見れば、 本年度全國

の創設、影図旅物の発行、天が、最近結点その軍大路は加

し、原館に使ては英観形式

ない。

時間も今年の大昭海殿日を

むる取大なる役割を自然し、

置されてゐる。

朝鮮銀行總数 田中鐵三郎

銀を増えるものである

あって、我々は然に一般の職 でき買力を大に困難すべきで の問制を強く大東距金銭圏の

に於てはその大東正就事に占

然しながら、これを納到額

朝鮮の十二億個はまだまだ大 したものとは言ひ難いのであ

> 特異の新加策を置行し、貯蓄 引貯金の脳化等率先して種々

置せる經濟力を以て満支と共 共祭園において内鮮一體の形

にその中核たるの頃命酸々重

も上に空観華公の一般を以て 今日、墨國の漢跡、東部の魔 れたが、我々は「昨年の今月 艦隊起艦助が頭力に展開せら

> ことを取りより置うて日本の 早に富昭の大田に街へ乗られ

断燃料の怠大類化せられら領地の遊戲を戦力化することに依つて、いることが主なる原因でありませうか、降日の經過と共に日本の取

不英自身は自らの世界問題の非國を越降する結果となったと

「七本の打倒を協議したにも担ら

了日本にようて解放せられた大東距離民族に對する指数については何修識れなかつをがこれはまづ日

とが出來ると

「たこと、一、しかも米典は困難にしてかっ

是別にわたる

当日報事に於てその

版争の

ではと奥嶽とを東西民族の一である軍隊に對して照果し時相為む東西民族の相関によってその東部制

少野闘を題成せんと企画しつくあることの二脳を顛剖、米英の東亞国使用の勝調、優勝性を振然に

代表によつて十一月二十二日から六日間にわたつて行はれたカイロ寮販を取上げこの脅談は勝利と建

「東京館店」井口街報前第三部長は九日午郎十一時三十分内外記書館と會見、英米ならびに重勝三回

カイロ會談と米英の野望

郷の団織においてする米英の不常 見なかうたに流みない、寒に破壊 散戦・

敗戦二年の二教訓

事物を着の一群は頭民を歌争に導 をれ放に こそ合衆國における 歌

こあるかを全世界に闡明 | さないのである。しかもこれによ

の正個を緊哮する結果となつ

し、日本を永久に三流國として

大東距
戦における
二ケ年
有除の

限の理論を明示した大泉距共同放射が敗間に與へを一種の技能に過ぎず、そのコンミニュケにようて

式であるにせよ、重្ឈ政権をもつ

下語なる地位が回復されつくある | がら世界の歴察官の如き厭貶をも 本る階級が含定されアジャ園取の の概念を意く現画に破長してきな 歌の即像においてする米蛇の不常 見なかつたに遊びない。 際に國境

て『三大歌台図の一つ』として特一般でしたのは合衆國の指導派であっぴに東距における巨大なる日本の

適を妨害し途に經濟封鎖の醫學を つて日本の正常なる民族的發展の

めた、すなはら一つは太平洋なら 一經験は米英炳闕の指導者として二

つの切實なる数訓を得るに至らし

ざるを得なかった。かれらが太平

東亞の奴隷化策謀

であります。これは閉臓以尿臓二年、漸く反攻の脈肺の気吸したと殴りて、帆物なる反攻を縁返し悪二無二反敵を求めんとして匿るの

いであります。 そこで原则の餘り米國は 大平洋方面の作職に賈翫

と聞き、別に四甲太平洋曲に中部太平洋方面に於て別大なる損害を りして居りますし、一寸環境をする場合せると、子な見込が立たん P、 加々容易ではありません、伊太利パルカン方面も福頼間ががつ

> は悉く是を観定し、重要なる意像を確保し、戦略上必勝不敗の態勢 を確立したのであります。而已ならず占領地域の經常官しきを得、 ごを利用し得るといふことは非常な 頭味であります。 更に 貢献に 駅 りぶすが、女子は未だ懺用せられず、男子の演集終も最も少いので **軍に駆撃の勝敗を左右する餓であります。我國は変骸國中人的蛮**歳 **した以上、2000万化することは単に時間の問題であります** て申さば、戦前の「特定さる図」が一蹴して『特てる図』となり に放て最も餘裕ある國であると云ふことは先にも一寸強くた所であ 8ります。同この上に大東亜十億民衆を結集し得ました今日 今日人的、物的資源に於て大いに解給があると云ふことは、

精神力に加ふるに數量

申すことが出來るのであります。その他役等の國内事情としては躁 一壁でありますが、勿論可能であります。結局時の問題に置するので が出がるとしたならば、今日の設備を以てしても、尙ほ旦つ三倍の一 こと弱も異なき所であります、若し夫れ現在の脳路を打開すること はず、協力一致審験努力するならば必らずや其の目的を選成し得る ありぶす、惟ふに直接たると、面接たると、官たると民たるとを問 を確立し、機器を改革し、軍論省、運輸通信省等を新設し、特に飛行機 あります。然らば我國は現在以上の生態境頭不可能なりや否やの間 びまじたならば確に限に金額で、最後の新和は一點の疑びなら所でてあるのでありますから、精神刀と腕縛との上に敷原を加へ三番裥 點と中さなければなりません。今日に於てさ八蘇々たる戦果を駆け 船舶等の主要兵器、資材の生産の敷銀に於て不十分なる點は確に戦 既々過去二年に真る敵権を回際致しますならば、病神力と政府 那各地の原際に職人せられ、やがて大東胆の各地に活躍するととなっ 乗以一般に動物たるものあることを認めるのでありまずが、 新の如 長も欣快とする所であります、大気は半脳のみならず内地、横洲、支

何を措いても敢闘精神

平島の立場に戻て注意を要する一、二の脚を申し強くたいと思ふのでありますが、 之に對する對策に就て簡単ながら要點を申述べをのでありますから る第至手段であります。これ等敵側の策励に窮ぜらるメことありと 傷も全く用を爲さぬのであります。而して此の厭意は必勝の信念と 方法に依り宣原を試み開路を試み、或は思想攻勢を試めることは事 関は影性を有することが論であります。他で直ちに心を信ずる事の 堅持することに依り益々閉勘せらるこのであります。豚側の秘表質 るのでありますが、何よりも大切なものは歌歌の「影響であります であります。私は機會ある毎に大東距戦争に殴ち扱くための機能 して、第一載新の邱揚、第二項蓋、第三防衛といる事を申し述べてあ

能率を競弾することが出来るといふことを聞くのであります。 ても大なる関心を操ばれんとを希望して日まざる次第であります 民間契着師に観光方面の一大管鍵を要するは勿論。一般官民におい 新設して立派な陣客を整備せられたことは御同盟の至りであります 能が設定されても中央の痛労に順限して機構を収革せられ郷工局を 飛行機工饗館はこれに掲載する軽金篋工業は比較的遅れてを以ます

差一型数します。北方鎮礁の重任を省する朝鮮が麒麟國雄の響情を

せん、何盛の市際に入盤致しましても内部全く同様の収扱館に教習

せつが、省内に於では倍かも一家の子弟を養育するが如き温州を以 以て軍隊の教育に協力せられんことを希望に耐へざる所であります なからしめ一意里務に結婚すべく、情理病方面より鼓舞歌劇を加へ のがありますが、最呼は從來は放倒なる生活に馴れたるもの る泉となり、野響として本務に特職して居るのであります。従来が を受けることは勿論でありまして、時間上直接職場に必要なる教育 **電車人の家族中國家としての特別の別典に治するものもあります** だして家庭の温情に治する能はざるものであります。出征文はて が脈郷里の製蔵先輩等においても出征。なことであり双手を駆けて對成するの

あごとは酸多単例のデオ所であります あことは酸多単例のデオ所であります

動いるとこそ姚俊國民の勝ち抜く道であると信ずる次郎であります 概となり顕石の既然を堅め必勝の信息を堅持して低力戦力の増弱に 明なるが近く着りに物題するも酸であります、着しく制国民職に一定を要するに必要の大道は明かであります。着りに變調するも不

(者) 背山薬品質(市上) 的数単、解的概要と関うため総額形ではす。****たすためえ、その利用名類に特受問題行(京純) 悪政事長(療) 陸城地震に軍大作用をよす形態の一二百から明年七月25の凝肥の測管(江原) 最適局些、耕地農山口 2500減

各道肥料主任官打合

電遊高錫 馬 葉 慎 遊補

駅然 として米美打倒の はねばならぬ。日 着日曜の 取に く取場とで行はれ、 | 脚丸を、作るもの、縁突するもの、 の原別がない。兵と國際 た▲大東温戦却には、 選出版 関とがつっ 関とがつっ

ようて親うたし、民かは記録に外間によって親うた。しかし今日は一切をあげて國民が直後してある▲軍から、民歌も、戦闘も、戦闘も、関西の手で作ってあるのだ。そのといっでも、破後くから、戦闘・気のに、 國民はそれを資ふ食を負機すれば 戦争をした日清、日陽俗代には、けた▲外國際の大砲と戦丸を以て

増産推進へ拍

Ŕ **水**

方 (昭和十八年十一月 1 十五日鴻在) 西部組上火淬保險從式會駐凍階階級領海

分に知って、小概観響の

THE SECRET

(昭和十八年十一月二十五日現在) **|| 機株式像社保管勢照表 新 では、数・通



に出でたならぶがくとも太平様な「七は事実上来英階圏の支配下に都」の生存上間ら太鋭的規能を持たは、カすることにおいて豊福かり観賞図に対して常に平路公正なる設度「少くとも大見記載等の以前にあう」民大衆にとうては今次の戦争はそ 大東語共同の敵に関する跡帯に関 世界の整常官を自任・通じて必然たる選覧行業をつづけ、核が何らの風診を出へられるとは、大東風豊富で疾患された太東部がしるがららして、大東風豊富で疾患された太東部がしながららして、大東風豊富で疾患された太東部が **図が相互の獨立を撃撃し、しかる** 醫時に比して全く革命的な酸化 中間にも揺らず如何に大東亞の各 呼慢されるに至ったといへる。 かしながら一方天東西における理 カイロの飲は深刻な単事上の打職 全東亞蹂躙の野望

うらし、ことには紹言られては、「高良力をもつて審晰した確認を報しかの練説せられた大宗服各級を致謝しない以上ごれを米英郷に報答」る。また中國に記むて最も疑慮は「戦力であり一つは一度米英の後権

から解放せられた大泉胆各國各民

我が痛打に焦躁の

止めることの不可能なる自然後に

條件は重្政御の利用による大陸 んとする場合必要飲くべからざる 年における日本人の 上の意味において米英側から

利と建設の理念を明示した大東亞に個みつよある米英側に對して勝

米英 婉図ならびに 軍隊攻戦を代

ミニュケば 三國共通の 職争目的

彼らが、世界に向うて、必要したコーを直線の目標としてゐる難と意思

ルーズペルト、テャー・サー個土の郵取とによって日本を長く

重慶へ媚態を盡す

左の如き談話を行つた

ル解介石の三者は去る十一月世一

三統國の地位に町付けすべきと

を述べてゐる。カイロ自然の持つ

た版度に出たことは不完にしてわ 國民に對しかくの加き観点を極め る、米英の指導者にしてアジャの に行し記述之に発めてある戦であ

関に関して国に平等公正なる設度

にベンの軍国に止まらずアジャ各

が 関係印度など大東部の全地域は ある、さらにビルマ・ブイリビン、

ある深質である。元深合衆國の國

力を原倒せんとして

東西において照取した交配と獨占 その脚下に蹂躙せんとする非智

を知らぬ技略の野心でありこれを は大規則に対する米英の恥くこと

朝鮮無理族では過数の高質で同心 の事業を開を購入すると同時に買 後日に不場頭際所長西田間市氏が 役岐の副新を断行して常務取締役 加酸五十三氏が趾長に昇越、その一

同防衛の中福をなす日本を打倒す 公園してゐる。これこそ大東

重役陣刷新 朝無煙事業擴大

は、 になった芸術・ 野丸を辿って 風に なっかるのである。 そこに、 解力 と 風像にまた。 その成り増加と を 糸の様にまた。 その成り増加と が 持てと 既いてある。 それは、 矢根り が 持てと 氏いてある。 それは、 矢根り 類が上でも関力を増配することは 他人の為のにするのではない▲明 日にも氏に召されたら、自分の手

るの。

海上火災保險株式會社

二十五日現在)

《昭和十八年十]月二十五日現在) 《昭和十八年十]月二十五日現在) #12882 #48884

大北火災海上運送保險株式會社 辰縣濟上火災保險株式會社長與縣際第中本町為拾於新地

合併契約ノ要旨

がシンティ、 がシンティ、 関いたのでは、 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 を対している。 できたが、 のできたが、 のでき 危ふく冷凍の乗員に武士の情

迫る寒氣を時々小さな足

大吉の日

一發必中

年末の生活心得

四尾形野が 光線を見てゐた相非さんが の電影が 1、下厩獣の電影もない。 関でこの

と一歩組み出で、これまた腰の中

と用出た。受取つて避けて見ると

朝鮮服の中から一枚の小切手を取

出合はした 内鮮二人の献金同志

に、陸鷲に纏まる

に天晴れお目出度う

譽れは高

属乙女精の批行會と

烈用の氣限に燃えて威酸の容許

は、一般で動かしたる結果、個面の女の薬症は胸れの日を側に収えたり、自然の経生に動し、物に私を見上れした。 に関いて多のであります。 0.1部動徒を除いては消と大部分 日報・大部分 日報・大部分 日報・大部分 日報・大部分 日報・大部分 日報・大部の大田の大学 0.1部動徒を除いては消と大部分 日報・大部分 日報・大部分 日報・大学 10.2年 10.2

第一陳を正は、豊が教職員、先端、未動職者をあ殿の世紀によつ後近年1日か、曾帰徳によつて同校で践行された。 全自場合者その助戦は急闘を



智 日本不在地の世界を 日本では の世界を の世界を の世界を の世界を の世界を の世界を の世界を の世界を の一十八日 一月二十九日

東京代 東京 (中央) 20 日本 (滑石。粉末

電積各地共通許可有り車輪は従来のリヤカー車体職付簡素

西海道

朝鮮總督府指示済 愛國リヤカー並 華輸 堅固軽快價格抵廉

文化木炭 遊 精神系統 地工樂研究所 運搬界に奉仕 (企業許早要)

一、随行日 昭和十八年八月十八 一、荷多人 京城工作所大阪出張 一、荷多人 京城工作所大阪出張

● 新東公司 新東公司

- 専門却・在庫豊富 |

慰問用品と玩具

特約店求人。響照過、層報題の

のどがふくれる、目が突出する拘氣
 田状腺の強害です
 を選手をに関されますが中でを単純の登場中間行い前天人
 と多い的にくの過ぎず此次の分類が中に行る場合でする。
 でありに関めなどは、中の代の一般の一種でする。
 でありに関めなします。毎日の後年にはなる。
 でありに関めなします。毎日の後年に対しても数に関めなします。毎日の後年に対しても数に関する。

セドー氏病

無代進呈ス(パセドウ氏病文獻)

代用金庫 (新聞報)

170

•

•

一般成本局の第三〇一〇

昭和十八年十二月八日

城電氣工業株式會社

「竹の 格」そのまるの ぞとなっ

無事胎團融級の任跡を終へて〇〇一の複数架て三日月の数さへ見えず。時代気味といふところだが、こと

設つたのが観潜水路はほとんど異

珠敷以來応るべからざる勝敗の選

ラ電風

砂壁に吹き飛ばされたのであらう 開き海水をぐつくと飲んである は三つ四つ威楽な命取りの大穴が

は 運動師は出現後こちを数はうと映 本 選続師は出現後こちを数はうと映 本

電力関策の一翼として戦力増弱に副ひ奉り度と存候間何卒御愛娟を設立致し一般電氣工事の請負及附帶事業を經營する事と相成りを設立致し一般電氣工事の請負及附帶事業を經營する事と相成り經營を期し今回交通局及京城電氣株式會社指定電氣工事業者を統時局の進展に鑑み企業整備の國策に順級して電氣工事業の合理的時局の進展に鑑み企業整備の國策に順級して電氣工事業の合理的

御用命を賜り度此段奉順候 京城府中區南山町三丁目十一番地、(京城ホテル跡)

夫を襲した結果。臨か一ケ月除での火魔を切つて落し、細心劇意工

表彰金を献納

表る七月、〇〇ぷら飛行湖用窓種一品生蔵を開始、季先霊殿の社長以

概だと夜を繋についで駒汗淋漓・風分の一でも弱いる千戦一週の好 下会員が減職の兵器を遭り星間の

せられた示唆こもれる献金の花束

鍾路署にも

图を室跡した昭和十六年十二月八

郷路三ノー七九、西原満治氏に大

終 フェス、三共工作所では

な自信を個得した同所では喧に歌

赤誠部隊・長蛇

今年こそは明るい年末を築らう

既が微地の一途を辿る傾向にあり 能山署長は語る

を許さな観彩なもので学時工語界・ した同並では倒金額に金五目個別人、その上生態技術も伊の原発・ 一葉を豪彰されるが、之に感激が入、その上年間技術も伊の原発・ 一葉を豪彰されるが、之に感激を出りた会

をそへて九日頭船運受國部を物 れ平井大阪を通じて國防家金、 一同をあつく威胁をしめた【3 「国」献金する証託】

`神宮大麻」奉祀運動

が開かれる。明日の飛行機 した今日この頃は 時から京城神社で大陸頒布 大脳奉配進動も十二月電腦 ふためには一神宮大麻を新



國百人一首)同(第十四) 泰在婆 國百人一首)同(第十四) 泰在婆 上鄰正百(粉潔兄富志) 同(愛 場所的(対後) 超頻度(受調百人)場際艦(スプング海ン詩) 宗敦嶽 百人一首)に支木 司夫(愛頭 百人一首)に支付した。 たつたのである。

関ルで電車に弱るところを歩いた

大東亜戦務二周年記念日の八日を で開き雪島の作品を一般に展覧

の好評をなしたが、大韶楽歌

汗の結晶献金

それからこんどは逆に落くな

堅形ボイラー

制を材工地ですられます。 原に間空に十飛が以上の工場共同 要と今川町名が設との工場共同

片生 155 泌尿器外科 医学療工

白島鴨日

地付匠ス

きは

處夕 女や

本 ニュ

誠信女學校陸海軍へ

お猟笛のおかずを食べなかつ

土取間のしるしにと歌物して多ち

醉田剃 愛したのである

さんかね

「あの、らやだ。今は既へい行う

歌二周年を記念、九日同校門村時 決勝の航空機械作業の一部にと歴

化 状況 * ヶ乳幼兒の食物 * 主な原因 * ヶ乳幼兒の食物 * ヶ乳幼兒の生存期

家庭の躾々などを列駆し母の

が、それがなぜその個人の際に跡 と歌定してしまつていゝであらう

既的合理化と配給公正班に消費級

発育性の配うて婚人。数へてある、新聞を見合せて死に、

用すること終路レく闘示してゐる

食生活(食物治療のため

ふ石鹸はなるべく傾はず灰汁を向 すと、洗顔の際に火薬の原料で使 せを顕微の複雑でからい、 及前

住生活。これでは場際破

育児脳では側医頭兵を背成する母

戦を将属で展示、古らに採取で米 國生政陣の婦人総出を見ればあの

篇員動總人婦

◆ ● のど、 取時下勝

の置き締念正とである。

な勢力によって作られ、衣料の潤

全婦人の頭の切替

決戦下の衣食住

撃ちてし止まむ展 から

京城館報(十一月一日院)▲随録→続合インド月報(三巻十號)▲

求め、いゝや。私も一時タラセヤ **編集 工及見習工舞** 仕求む

新城府中国 東城府中国 黄城府中国 黄城府中国 黄金町一丁目百八拾 朝鮮武田薬品監 日本窒素。支計

防空暗幕 東國府國大門 屬橋南町二二 京國府國大門 屬橋南町二二 新本計理事務

平台階 化ス ス兵 兵村工 場劇南城 座 治 明

ZJS.

龍安

脚卷

郡滩

食

糧

配 給

台

一個八合

都界

興

黑

5. 桑析 桃太郎 思女 原 正 藏 恐 江界事務所

我等軍艦旗と共公司を19年 二八世の七 若寶 城|劇 場獻日京 劇

山田家畜病院の病院・ へ國報産生!め進 学安北越龍川歌麗岩龍昌。 東邦江界鏡山事務所率安北灣江東郡江界區剛區 龍 **整型 玉 井** 產 安齊玉 田盛井業 組

喜

八行

京|場劇一第 場劇壁大 日曾周同版运式。 部的此第字派式曾 新印度五石隆于此 始新成大参照五路 先超传统统为目式 年此独同门的 年代的一个 有是人五五条件 最低西四点 多。

別現

装商四 電出場作

類別機構市西八町九十二森下みや子 ■ 第十科樂 一學 八四 ■ 1

毛をはやす新療法

無感がの神経に下さいとうとなる。 の方や神心配の人の方や神心配の人の方の神心配の人の方の神経に下さいとうとなる。 の方や神心配の人の方の神心配の人

にパラコニン液

所得人がいまります。 所得人がいまります。 ののでは、 のでは、 のでは、

大、経衛日・十二月二十三日中的十四三家ウィネンちム京 大、経衛日・十二月二十三日中的十四三家ウィネンちム京 一年、職業が、

其人は無料ニッテハ来所が占当合

(特別の) は、 一般の は、

面接日時及場所

與南金屬工場工具

上候也

場劇央中 淵國語普及教本

社員採用

酒井市郎商店

謹

告

經濟事犯の發生を未然に防止し 師 走の犯罪撲滅 京畿道岡警察部長語る

要認した。一般近民の協力を

雌に孤出所に図して最川端長が一野で変味し遊職した 一野で変味し遊職した 大汗御郷・祭英志・安東在北・

一般製紹介所長も厳勢する 紹介所長、府理事官保付総氏が就 帆村の目は、彼女の 節れの 職

つた。ヘルメツトは被づてあるもは、機害のために降安りさうにな

院城頭金町四人二五四 京城頭金町四人二五四 京城頭金町四人二五四

義人長七

座富新

職業紹介

第 風見 建六

日午前九時三〇分ヨリ

防犯~協力望 钞

前八時半から間示室で話物差別 Aを駆行、引動を情報事業収算校 地に抜終の均積をあげた優良警察 警察官を表彰東大学の対抗

海野十三(作)

、 そこへ民つて來と例の年去い婦人 南洋にて(六)」 何とが何有いましたが、

ヘルメットの

と、留言は聞きがへした。彼の

開配達員募集 細向賣 タイプ印書専門

電水子型 松野医花柳病 專門 無廢版名響 日本二ユー7 九日-十1日

1 ※風『共楽圏風物語第一樂・劇除公

公演

場劇洋東

館花浪館樂喜場劇花桃座日朝 教員試驗準備書

一、應察資格 地景 一、提出書類

魔を書一通、鬼魔一事 魔と、(2) 本の思う性と、(2) 本の思う性と、(2) 本の思う性と、(2) 本の思う性と、(3) 真歯垂健密 を、(3) 真歯垂健密と、(2) 本のでは、(2) 本のでは、(

館畵映信和

[湖路] [決戦 B

第二放送 夜 A大·五

ラジオ系語 第一放送朝
大東亞の

認る料理ストー

今般左記へ營業所移轉致候間此段御通知中

言語道斷の敵米英

松村大本營陸軍報道部長獅子吼

高くてある。 - 「は何に関い不識的して世帯近い物」と砂糖化さんとするか、彼らの不「指揮するギルバート記載にどうかり足を伸すと同時に基準、昨年八月の反気呼吸以気破らは然「牡とを米皮の指揮する関欧に何ん」いふことである。またころツツのりればならない。彼はこ - がある

バイト増産に拍車

的外れのカイロ會談

戰爭第三年

笑止、『浮ぶ基地 米、尚も白々しい頬彼り

レメンチュータ 下六度である 下六度である

中等學校入學考查

文部省、決戰措置を採用

阿原國民教育局長談

疲勞を恢復し衰耗を整腸作用と相俟つて **福給し祭養と活力を充宜へ**

胃腸湿化

死法の前別とり 死法の前別とり の概な過剰は離 で選択し、阪民 流戦協生し

> 腹痛に 胃弱に

新に堪へのがご ある風物類の

12.















傷めず

LION

粒 ř 糆

観光しから高

を願ふとはな

る。鉛ひに乗

えのするいかに いったいのに はいった。 十一月

なりない。

が地質と 香味佳快

かったとはい がったとはい を保留の以土 た保留の以土 の同語が次の

鵬翼を連らね印度の敵反攻基地に殺到する陸鷲

するわけにはゆかめ、不幸なこと

が、特別者が少くて従来にない

軍隊式に命令を徹底化

部の心得

○定錠側検査ー費れの日

學徒よ祈るぞ、甲種合格

總蹶起を確信

芋島延專校長の感激

意注らか盟聯

起て

して臨んだ延藤県門辛島校

晴の首途へ軍國の母が餞け

原出東世し者。御家

大三島川岬へ参門数 山に山城共が東まり 山に山城共が東まり 山形がて、遠治るう い形がて、遠治るう いが、大乃母取り の順で、小坂共に立

(I) 関機查調の配金 元身 智結 用信 直資 所支城京所信興國流 都五九六・二十四84億・三十町沿領城城 総十七閏全所支 京東 社本



謝

御

源近

松丽火

居居見舞

なし人に包む妾の氏」 がし人に包む妾の氏」 息女で御座りませ てゐるつてあなた 搬き山つ歌りを 公 医學博士 炳 禹 公言 京城鐘路一丁目(巻水4006巻)

いいた。 振へられたのでと が思る皆ることで 松梢風(作) 1編(書) 医学博士

んという

信

太

志 岐 信 水 伊 見 舞

合

謝

辞拂ふなんて時局足をとられるほど 柄以ての外です 勿體ない!

唇び沸く林君の

(無)前」号ではプ

少算清

・岡ズナー日本多一時半大郎町営業さんで、古切んでリートの大学的 し此段御迪知申上候り 日本 日午前十一時 死去仕候間生前中の父茂太郎儀鎌で 病氣加療中の處 養生不

进到 1779.50

铜利

町治明城京

篇

2

ラムしむらしも ラムしむらしも ラムしむらしも ラムしむらしも ラムしむらしも

合質問並

關

況

行就定種類

謝近火御見舞

田附株式會社京城支店

同 校父兄後 发育日之出公立國民學校

謝出火御見舞

整路異本局のシウス5番 京城府藩町三十九番地 京城府藩町三十九番地

酒

海伊興業株式會社 京.城.支.店

謝

設近

火

三五章

題品本局の一五一四番

郎

名會社